

1. 科目名 (単位数)	図画工作 I (幼) (2単位)		3. 科目番号	SJMP1141								
2. 授業担当教員	薬本 武則											
4. 授業形態	実技、講義		5. 開講学期	春期/秋期								
6. 履修条件・ 他科目との関係												
7. 講義概要	<p>実技や講義を主体とし、造形表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形に関わる基本的な知識や技能を習得し、子どもたちの創造性豊かな表現活動を支えるための基礎的な力を身につけていくことを目的とする。</p> <p>制作実践を踏まえ、自身の造形表現の経験を豊かなものにしていくとともに、保育者・指導者として子どもの造形活動にどのように関わっていくかを考え、幼児期の造形の特徴や教育的意義への理解を深めていく。その中で表現の面白さを実感し、自分らしさと向き合い、自身の感性と創造性を育む。</p>											
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術的な「上手・下手」にとらわれず、ものづくりの楽しさや表現することの喜びを体験する。 2. 様々な作品に触れ、子どもたちの生き生きとした表現に共感できる感性を養う。 3. 子どもの発達段階における造形の特徴を理解し、場面に応じた援助の在り方について学ぶ。 4. 素材体験や題材研究を行い、保育者・指導者として不可欠な基礎的造形力を身につける。 5. 子どもが自発的に造形活動を楽しむような場づくりについて、保育者・指導者の立場から考察する。 											
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容、作品・制作過程を毎回ポートフォリオにまとめる。詳細はオリエンテーションで説明する。 2. 「保育所保育指針解説書」の「表現」についてのレポート作成をする。 											
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】薬本武則著『美術原理』K's工房出版。</p> <p>【教科書】内閣府、文部科学省、厚生労働省編『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』フレーベル社、2018。</p> <p>【教材】画材 (スケッチブック《F6》、水彩道具一式、クレヨン《16色》、教育用折り紙(色紙)、糊、粘土など)の準備。授業ごと事前に通知。</p>											
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの表現に寄り添った造形活動の在り方について考える力がついたか。(学習目標1・2) 2. 子どもの造形表現の特徴に関する基礎的な知識が身につけられたか。(学習目標3・4) 3. 子どもの造形活動を支える上で不可欠な基礎的造形力、技能が身につけられたか。(学習目標5) <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み、制作や鑑賞活動の成果、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>4. 課題 (作品発表、レポート等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加	総合点の20%	2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の30%	3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の30%	4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の20%
1. 授業への積極的参加	総合点の20%											
2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の30%											
3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の30%											
4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の20%											
12. 受講生への メッセージ	<p>乳児・幼児・児童期は、絵を描いたりものを作ったりする造形活動が非常に活発で、意欲的です。幼児・児童に喜びと自信をもたせながら、心身の成長発達に沿った造形活動を援助できるような保育者・教諭をめざしましょう。そのためには、学生自身がより豊かな感性と多種多様な造形活動を体験することが大切です。授業では幼児・児童造形教育のための基礎・基本を学び、幼児の目線で遊びにつながる演習をします。学生自身、造形教育活動に興味と関心をもって授業に臨みましょう。</p> <p>【注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚れてもよい服装で出席すること。 ・授業の事後学習として毎回「ポートフォリオに記録する」ことに慣れましょう。授業内容、制作過程(写真、コメント)を保存、記録する作業は煩雑ですが、自分の成長の証し・作品集の記録になります。 											
13. オフィスアワー	授業の前後											
14. 授業展開及び授業内容												
講義日程	授業内容	学習課題										
第1回	オリエンテーション ・授業計画と評価など、 ・ポートフォリオ作成の手順など	事前学習	シラバス「図画工作I」を一読する。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第2回	理論 図画工作の教育意識について、美術原理から学ぶ。	事前学習	「美術原理」を読む。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第3回	理論 図画工作の表現・鑑賞方法について、美術原理から学ぶ。	事前学習	「美術原理」を熟読する。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第4回	乳児・幼児・児童期の表現発達について学ぶ 「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」を用いて	事前学習	「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説」を読む。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第5回	乳児・幼児・児童期の表現についてのレポート作成	事前学習	レポートの構想を練る。									
		事後学習	「表現」についてのレポートをポートフォリオに記録する。									
第6回	ひっかき絵 (スケッチブック F6、クレヨン、針金など)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。									
第7回	型押し版画 (スケッチブック、水彩道具一式、枯葉など)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。									

第8回	吹き散らし絵 (スケッチブック、水彩道具一式、ストローなど)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第9回	はじき絵 (スケッチブック、クレヨン、水彩道具一式など)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第10回	折り紙① 顔を作る (スケッチブック、折り紙、はさみ、糊など)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第11回	折り紙② 花を作る (スケッチブック、折り紙、はさみ、糊など)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第12回	立体作品① お面を作る (スケッチブック、色鉛筆、折り紙、糊、ハサミなど)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第13回	立体作品② パタパタ鳥など (スケッチブック、クレヨン、色鉛筆、水彩道具一式、折り紙、糊、ハサミなど)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第14回	粘土制作 十二支を作る (粘土、粘土板、ヘラなど)	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品、コメント等をポートフォリオに記録する。
第15回	まとめ 発表と講評及び鑑賞	事前学習	作品発表に向けての準備をする。また、鑑賞に対する批評を整理しておく。
		事後学習	他の学生の発表を観察吸収し、良い点を学び、コメント等をポートフォリオに記録する。